

催吐リスク DTX

前立腺 DOC70/d1/c21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
デキサメタゾン	注射	16.5	mg 生食	100 mL 30	1
ドセタキセル	70	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	250 mL 60	1
				mL	
				mL	
				mL	
				mL	

## 内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 day2,3,4  
(浮腫予防)

## 投与基準等

## Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$ )

好中球 $\geq 2000/\text{mm}^3$  白血球 $\geq 4000/\text{mm}^3$  血小板 $\geq 100,000$

Hb $\geq 10,0\text{g/dl}$

AST、ALT、ALP:施設正常域上限の 2.5 倍未満

Cr:施設正常域上限の 1.5 倍未満

## Ⅲ. 減量基準（例：Grade3以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量）

1. Grade3以上の血小板減少による出血または血小板輸血を必要とした場合
2. Grade3以上の非血液学的毒性  
（高血糖、高血圧、悪心嘔吐、食欲不振、疲労および過敏症を除く）
3. その他、減量を必要と判断する有害事象が発現した場合

## Ⅳ. 重大な副作用（例：好中球減少 Grade3以上37.5%）

好中球減少 Grade3以上 32.0%

ショック症状 0.2%、アナフィラキシー症状 0.2%、間質性肺炎 0.6%、肺線維症 0.1%

脱毛 65.1%、全身倦怠感 42.8%、皮膚・皮膚付属器障害 57.8%

添付参考資料（文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書）

「Docetaxel plus Prednisone～」N Engl J Med 2004;351:1502-1512

「Docetaxel-based combination～」Annals of Oncology 2010;21:2135-2144

サノファ・アベンティス社プレスリリース